

公益社団法人 地盤工学会  
出版企画委員会  
議事録

平成23年度 第1回

|                              |   |           |                 |           |   |
|------------------------------|---|-----------|-----------------|-----------|---|
| 日 時：平成23年4月15日（金）13：30～17：00 |   |           | 会 場：地盤工学会地階A会議室 |           |   |
| 委員長 李 圭太                     | ○ | 幹事長 清木 隆文 | ○               | 幹 事 熊谷 隆宏 | ○ |
| 委 員 青木 知絵                    | × | 委 員 岩波 基  | ×               | 委 員 岡野 靖  | × |
| 委 員 川井 康右                    | × | 委 員 高橋 直樹 | ○               | 委 員 田中 正智 | ○ |
| 委 員 橋 真也                     | ○ | 委 員 土屋 光弘 | ×               | 委 員 戸本 悟史 | ○ |
| 委 員 仲山 貴司                    | ○ | 委 員 深田 久  | ○               | 委 員 山木 正彦 | ○ |
| 委 員 細野 康代                    | × | 事務局 永田 満枝 | ○               |           |   |

《報告・確認事項》

1. 議事録担当者……事務局永田
2. 前回議事録(2/3)の確認……(別紙-2)
  - ・承認された。
3. 前回事業部会(3/7)報告……(別紙-3)
  - ・李委員長より報告された。
4. 理事会(2/24)報告……(別紙-4)
  - ・李委員長より報告された。
5. 事業部関係収支報告……(別紙-5)
  - ・永田より平成23年2月売り上げについて報告があった。
  - 今後、新刊本の売り上げが芳しくない場合は編集委員会の委員長およびその時の出版企画委員会の連絡担当者  
に販売促進にご協力お願いします等の内容の連絡書を送って、売り上げに協力してもらう。  
⇒連絡書のひな形を販売促進WGで作成する
6. 各編集委員会および出版作業進捗状況報告……(別紙-6)
  - ・単独本の子供向けの本と地盤のはなしの企画については骨子を明確にして次年度再検討することにする。
  - ・土の締固めについては発売月を2011年6月に変更、書籍のグループ分けを山木委員にお願いし、川井の式の係数を決め、販売促進WGで初版冊数を決定。見積もり後、出版企画WGで定価を設定する。

《審議事項》

1. 各WGの進捗状況と課題……(別紙-7)
  - ★出版企画WG……出版スケジュールに関する検討資料  
別紙-7の3ページの②書き下ろし本の場合のスケジュールを修正して事業部会で報告する。  
テーマ間調整費については明文化することにした。
    - ・書籍のグループに従って、テーマ間調整費の係数を決める。
    - ・書籍の初版部数推定式の一覧に間接費を入れてしまう。
    - ・増刷のサイクルを確認する。
    - ・売上が悪いと考えられる書籍は、間接経費の算出係数を低くする。逆に売り上げが良いと思われる書籍は、高くする。
    - ・テーマ間調整費を試行で掲載する際、基礎の値となる印刷費は同じと考える。
    - ・過去5年間の売り上げの確認。
  - ★販売促進WG……セット de お得キャンペーン集計結果  
セット de お得のキャンペーンの効果が見られたので、セット販売方法を今後進めていく。  
セット販売については発刊3年以内の書籍は対象から外す。  
セットの内容についてはその都度考える。  
事務局の作業を軽減するために、ショッピングカートの改善を継続して願います。
2. 22年度の事業の見直しと23年度への引き継ぎについて……(別紙-8)
  - <22年度の成果達成事項>
    - ・原稿の印刷テンプレートの作成

- ・初版の印刷部数の設定
- ⇒委員会の成果を明文化する

<23年度への引き継ぎ>

- ・オンデマンド出版は凍結し、電子出版については次年度の検討事項とする。
- ・既刊本要領を見直しする（現在は既刊本見直しをしていない）  
既刊本を5年に1回内容を見直す（技術的に古くないかななどの点をその分野の専門家に意見を聞く）  
⇒それによって改訂もしくは絶版とする。
- ・地盤工学の発展史と人物史の出版

### 3. 他学会主催研究会等での書籍の販売について……(別紙-9)

他学会主催の研究発表会等で地盤工学会の書籍を販売するかどうかの判断は事務局職員の都合でその都度で考える。事務局職員が会場へ出向けない場合は関連本のパンフレットを設置してもらう。今回の6/16・17開催「地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会」については職員を派遣し、関連本を販売する。

### 4. 平成23年度委員会構成について……(別紙-10)

次年度の委員会構成については次のとおり

- ・幹事長は現委員会のメンバーから決めるのではなく、新たに李委員長の推薦で決める。
- ・幹事は橘委員と仲山委員。
- ・青木委員の後任はできれば同じ東京都の職員の方でお願いします。
- ・岡野委員の後任は同じ応用地質の方で決定。
- ・田中委員の後任は同じ大学関連の方でお願いします。
- ・川井委員の後任はコンサル方面の方でお願いします。
- ・清木幹事長の後任は宇都宮大学の方で決定。
- ・山木委員は22年度で任期終了であるが次年度も引き続き委員会活動に参加してもらう。
- ・女性委員として大林組の下村さんに参加してもらう。
- ・土屋委員・深田委員・細野委員は継続。
- ・連絡委員として李委員長・清木幹事長・岩波委員・川井委員・高橋委員は委員会活動に参加してもらう。
- ・WGの構成：出版企画・・・橘幹事（リーダー）・田中委員の後任・深田委員・細野委員・山木委員  
販売促進・・・仲山幹事（リーダー）・青木委員の後任・岡野委員の後任・川井委員の後任・土屋委員・清木幹事長の後任・下村委員
- ・追記：委員会後の交渉で、岐阜大学森口先生に委員とした参加して頂けることになり、出版企画WGの担当をお願いすることになった。

### 5. 地盤工学の発展史と人物史の出版について

- ・次年度へ継続審議とする。

### 6. その他

- ・事業部（出版企画委員会）として東北地方太平洋沖地震の被災者への援助は震災により流失・消失した地盤工学会発刊の書籍を大学・研究機関・学生（学会員・非会員を問わず）に贈呈する。

・次回委員会開催日は5月30日（月）・6月2日（木）・6月3日（金）のいずれかでアンケートを取って決める（時間帯はいずれも14:00~17:00）

- ・次回以降の理事会で報告する事項
  - ・テーマ間調整費についての明文化（資料あり）
  - ・事業部（出版企画委員会）として東北地方太平洋沖地震の被災者への援助について（資料なし）
  - ・著作権・電子出版について（資料なし）

・今後の理事会は4/22（金）、5/13（金）総会：6/10（金）